

校種・教科等	高等学校・家庭	受審番号		氏 名	
--------	---------	------	--	-----	--

『家庭科』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 1-1教室
 (3) 学年・学級 第1学年1組(40名) 使用教科書 家庭総合 明日の生活を築く(開隆堂)

(4) 単 元 名 A 4章 高齢者との関わりと福祉

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

・中学校において、家族・家庭や地域との関わりについて、課題をもって、家族の立場や役割、家庭生活と地域との関わりについて理解し、家族関係や高齢者との関わり方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法を考え、工夫することについて、学習している。

【単元のねらい】

・高齢者の心身の特徴、社会環境、高齢者と関わる際に重要な尊厳や自立の視点、関わり方などについて理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、高齢者の生活を支えるための家族、地域社会の役割の重要性について考察できるようにすることをねらいとしている。

【生徒の状況】

・事前アンケートの結果より、祖父母と同居している生徒は10%であり、身近に高齢者との関わりのある生徒は少ない。自分自身の高齢期については、「孫と一緒に楽しく過ごしたい」「自分の趣味を続けて、友人と楽しく過ごしたい」というポジティブな期待を持つ生徒が60%であった。
 ・グループ活動では、それぞれ意見を伝え合うことができるが、一斉授業の場では、積極的に発言する生徒が固定化している。
 ・日頃から、1人1台端末を活用した授業を実施しており、使用には慣れている。

(6) 指導計画(全11時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (2時間) 本時 1/2	1 さまざまな高齢期 ① 高齢者・高齢期の特徴について理解する。(本時:教科書 p.78~p.79) ② 認知症について理解をし、認知症をもつ高齢者に対してどのように接したらよいか考える。 ・高齢者の身体的変化について理解を深める。 ・認知症の種類と症状を理解する。 ・認知症を抱えた身近な高齢者とのどのように関わっていったらよいかを考える。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
第二次 (2時間)	2 高齢者の尊厳と自立 ① 人間の尊厳や高齢者の自立について考える。 ② 日本の抱える高齢者虐待の問題や介護者への支援について理解を深める。 ・高齢者が人間の尊厳を「保つ」「守る」ためにはどのような環境やサポートが必要か考える。 ・日本の高齢者虐待の現状を理解する。 ・高齢者の介護に伴う介助者の問題を知り、日本の介護の課題を理解する。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
第三次 (4時間)	3 高齢者の生活と福祉 ① 高齢者がどのように生活しているか理解する。 ② 高齢者にかかわる福祉について理解する。 ・高齢者世帯の収入、所得について理解する。 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割について考える。 ・地域包括ケアシステムについて理解する。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
第四次 (3時間)	4 高齢者の生活を支える ① 高齢者とのかかわり方を理解する。 ・高齢者の生活支援について知り、疑似体験を行い介助の基本を身に付ける。 ・高齢者の生活と福祉について、課題解決に向けた一連の活動を振り返り、社会全体の介護の在り方について考える。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等	高等学校・家庭	受審番号		氏 名	
--------	---------	------	--	-----	--

『家庭科』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和6年〇月〇日 第〇校時(50分)
 (2) 場 所 1-1教室
 (3) 学年・学級 第1学年1組(40名) 使用教科書 家庭総合 明日の生活を築く(開隆堂)

(4) 単 元 名 A 4章 高齢者との関わりと福祉

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

・中学校において、家族・家庭や地域との関わりについて、課題をもって、家族の立場や役割、家庭生活と地域との関わりについて理解し、家族関係や高齢者との関わり方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法を考え、工夫することについて、学習している。

【単元のねらい】

・高齢者の心身の特徴、社会環境、高齢者と関わる際に重要な尊厳や自立の視点、関わり方などについて理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、高齢者の生活を支えるための家族、地域社会の役割の重要性について考察できるようにすることをねらいとしている。

【生徒の状況】

・事前アンケートの結果より、祖父母と同居している生徒は10%であり、身近に高齢者との関わりのある生徒は少ない。自分自身の高齢期については、「孫と一緒に楽しく過ごしたい」「自分の趣味を続けて、友人と楽しく過ごしたい」というポジティブな期待を持つ生徒が60%であった。
 ・グループ活動では、それぞれ意見を伝え合うことができるが、一斉授業の場では、積極的に発言する生徒が固定化している。
 ・日頃から、1人1台端末を活用した授業を実施しており、使用には慣れている。

(6) 指導計画(全11時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (2時間) 本時 2/2	1 さまざまな高齢期 ① 高齢者・高齢期の特徴について理解する。 ② 認知症について理解をし、認知症をもつ高齢者に対してどのように接したらよいか考える。(本時:教科書 p.80～p.81) ・高齢者の身体的変化について理解を深める。 ・認知症の種類と症状を理解する。 ・認知症を抱えた身近な高齢者とのどのように関わっていったらよいかを考える。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・技能 思考・判断・表現 態度
第二次 (2時間)	2 高齢者の尊厳と自立 ① 人間の尊厳や高齢者の自立について考える。 ② 日本の抱える高齢者虐待の問題や介護者への支援について理解を深める。 ・高齢者が人間の尊厳を「保つ」「守る」ためにはどのような環境やサポートが必要か考える。 ・日本の高齢者虐待の現状を理解する。 ・高齢者の介護に伴う介助者の問題を知り、日本の介護の課題を理解する。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・理解 思考・判断・表現 態度
第三次 (4時間)	3 高齢者の生活と福祉 ① 高齢者がどのように生活しているか理解する。 ② 高齢者にかかわる福祉について理解する。 ・高齢者世帯の収入、所得について理解する。 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割について考える。 ・地域包括ケアシステムについて理解する。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・理解 思考・判断・表現 態度
第四次 (3時間)	4 高齢者の生活を支える ① 高齢者とのかかわり方を理解する。 ・高齢者の生活支援について知り、疑似体験を行い介助の基本を身に付ける。 ・高齢期の生活と福祉について、課題解決に向けた一連の活動を振り返り、社会全体の介護の在り方について考える。	一斉 個別 ペア・グループ	知識・理解 思考・判断・表現 態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。